

【論・旭川】 掲示板

旭川や地域に関する話題や情報なら基本的にどんなことでも書込みOKです。
もちろんサイトに関するご意見・ご感想・誤りご指摘等大歓迎です。
私momongaも自分なりに気になった話題があればブログ代わりに書込みます。



誹謗中傷やマナーに反する投稿については管理者権限において警告あるいは削除いたします。
また宣伝広告の無断リンク等の行為はアクセス制限の上無条件に削除いたします。

なお当掲示板は画像添付やタグの使用が可能です。あまり極端な使用はお控えください。
特に文字サイズの乱用は掲示板全体を見づらくしてしまいます。
画像については容量1MB以内を同時に3枚まで投稿可能ですが実際には横サイズ400ピクセル相当に縮小表示されます。
投稿画像は画像をクリックすると最大800×600のサイズで見ることができます。
1MBを超える画像は投稿時エラーになりますので適切なサイズに縮小の上ご投稿ください。

[Reload](#)

【重要】[teacup_byGMOのサービス終了について](#)

<思いやりのあるコミュニティ宣言>

teacup 掲示板は、皆様の権利を守りながら、思いやり、温かみのあるコミュニティづくりを応援します。
いつもご協力いただきありがとうございます。

投稿者

メール

題名

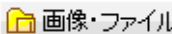
投稿

確認

内容



入力補助



画像・ファイル

 youtubeの<IFRAME>タグが利用可能です。

[\(詳細\)](#)

URL

[[ケータイで使う](#)] [[BBSティッカー](#)] [[書込み通知](#)] [[検索](#)]

キーワード: [旭川](#) [情報](#) [歴史](#) [[その他](#)]

検索

[《前のページ](#)

[4](#)

[5](#)

[6](#)

[7](#)

[8](#)

[9](#)

[10](#)

[11](#)

[12](#)

[13](#)

[次のページ》](#)

全1586件の内、新着の記事から50件ずつ表示します。

Re: [アイヌ記念館](#) 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 6月28日(火)10時53分30秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

川村アイヌ記念館が過去に移転した事があるかどうかは私も知りません。
あまり聞いた事はないですが、私も関心が薄かったので知らないだけかもしれません。

ただ、場所が思い出せないのですが、確か錦町通だったと思うんですが、今のアイヌ記念館とは別に店舗のような建物があったのを覚えています。

錦町通を新橋に向かって進んだときに右側にありましたので、今の記念館と場所が違うのは確かです。
私は昔それが記念館だとばかり思っていました。
もしかしたら別棟の店舗だったのかもしれませんが。
大町支線の傍だったかどうかともザンネンながら思い出せません。m()m

アイヌ記念館 投稿者:かんじ 投稿日:2016年 6月27日(月)13時38分11秒

[返信・引用](#)

質問です。
実は私は小さいころ緑町に住んでいて、いろいろ話題になる国鉄の大町支線は私の遊び場でした。
でとぼとぼと線路を歩いてゆくと、そこに熊がいたんですよ。
笹の家があって口を黒くしたアイヌの方が居ました。
間違いなくアイヌ記念館ですよ。
それが線路わきにありました。
ところが今考えてみると川村アイヌ記念館って旧大町支線の側にはないですよ。
移ったんですか？
素朴な疑問でした。

曇り空のブルーインパルス 投稿者:momonga 投稿日:2016年 6月20日(月)11時58分27秒

[返信・引用](#)

残念ながらブルーではなくグレーの中でのインパルスでしたが、飛んでくれた事にまずはありがとうございます。
前日の予行飛行も終日雲が低く垂れ込めていて中止。
19日も朝から曇っていたものの、低い雨雲は消えていたのでやってくれると確信し出かけて行きました。

6年前は駐屯地内で見学したのですが、今回は熟慮？の結果春光台へ。
同じ事を考える人は多いようで、春光台スキー場はギャラリーと化していました。
(笑)

時間になってもなかなか始まらず、やっぱり無理なのかなあ、と思い始めた頃、来た来た来た〜！
まずは隊長機が駐屯地上空を低空飛行で飛び去り、続いて全6機の編隊を組んでやって来ました。

一糸乱れぬ編隊飛行が美しい〜

どうやら時間通りに旭川上空に来たものの、多少でも雲が上がるのを上空で待っていたみたいですね。
天気のせいか、時間のせいかは分かりませんが、前回より演目は少なかったです。
ブルーインパルスの皆さん、ほんとうにありがとうございます。

ちなみに前回6年前はこちら

http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/345

http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/344

http://9008.teacup.com/momonga_farm/bbs/343



曇り空のブルーインパルス 投稿者: [momonga](#)  投稿日: 2016年 6月20日(月)11時56分33秒

[返信・引用](#)



Re: 財政への配慮は確かに必要ですが… 投稿者: momonga [✉](#) 投稿日: 2016年 6月18日(土)12時40分58秒

[返信・引用](#)

永遠の旅人さんへ

そんなこんな議論してる間に、函館に大きいのが来ましたね。函館も震度6弱以上の確率はかなり低かったと思いますが、揺れの大きさの割に被害はほとんどなかったようで幸いです。噴火湾側はかなり局地的な震度だったようで、函館市街はそれほど揺れなかったみたいですね。

ひとつ誤解していただきたくないのですが、私は震災などの災害にかこつけた過剰なハコモノづくりを批判してるのであって、永遠の旅人さんが言われる、非常時のインフラ対策、市民レベルの備えなどを否定してる訳ではありません。りっぱな既存施設を活用、あるいは併用すれば賄える対策がいくらかでもある事を言いたいのです。

旭川市が今考えるべきは、マチが壊滅するような大震災よりもむしろ震度4~5レベルが起きた時の対策ではないでしょうか。地震の備えの殆どない旭川は、このレベルで充分パニックに陥るし、被害も出ると思います。

私が以前住んだ事のある東京隣接の町などは、住民登録をしたその場で災害時の非常用セットが入ったリュックを渡されました。こういった普段からの防災意識や対策はやはりまるで違います。

永遠の旅人さんがおっしゃるように、まずはこういった意識高揚や対策に予算を振り向けるべきだと思います。建物を新しくする事ばかり考えていても、いざという時に何の役にもたちません。

Re: 財政への配慮は確かに必要ですが… 投稿者: 永遠の旅人 [✉](#) 投稿日: 2016年 6月15日(水)23時05分44秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

> 30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率は、公表された全国の都市の中で旭川が最も低く0.38%

もちろんそのデータは存じ上げております。ただし、その前提条件は現在判明している活断層によるもの。

歴史的史料に乏しい北海道では過去の大災害についての記録も曖昧です。

市庁舎の改築の可否は我々部外者がこれ以上あれこれ述べるのは差し控えたいと思います。

ただ、市民の防災意識の低さ(非常食や飲料水、カセットコンロ、携帯トイレを常備している人はほとんどいないでしょう)については何とかしなければいけないのではないかと老婆心ながら思っています。

大震災の際には電気、水道、ガス、食料、衣料、飲料、日用品、ガソリン…あらゆるものが手に入らなくなります。
それなりに準備をしていた自治体ですらあの時は機能不全に陥りました。

Re: 財政への配慮は確かに必要ですが… 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 6月11日(土)22時15分27秒

[返信・引用](#)

永遠の旅人さんへ

たまたまですが、今朝の新聞に2016年度版「全国地震動予測地図」が公表された記事が載りました。

政府の地震調査研究推進本部が数年ごとに更新する、地震が起きる確率を地図化したものです。

http://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2016/

30年以内に震度6弱以上の地震が起きる確率は、公表された全国の都市の中で旭川が最も低く0.38%です。

ひっくり返して言えば旭川で震度6以上の地震は99%以上起きないということです。

過去記録された地震でも旭川は震度4が最大となっておりますが、実際には少数まで表示すれば3.5です。(四捨五入される)

また、確認されている活断層が無いというのも他地域とは事情が異なるところです。

(熊本も過去大きな地震がなかったが九州を横断する数多くの断層が確認されていた)

つまり、旭川市民が根拠のない自信を持っているとは思いません。

昔は経験則のみで言ったかもしませんが、現在ではちゃんとこれら科学的な裏付けがあります。

私もこれを鵜呑みする訳ではありませんが、確率は限りなく低いのは間違いないと思っています。

防災センターのような施設や、公共施設の耐震対策には莫大な費用が必要なだけに、これらの確率との兼ね合いを考えるべきだと思います。

そりゃ安全対策にけるカネは多めに越した事がないに決まっていますが、

限りなく100%に近い確率で大地震が起きると言われている都市ですらなかなか持てないような防災専用施設を、

限りなく確率ゼロに近い旭川が多大な費用をかけて整備する・・・

ダメとは言いませんが、どう考えてもバランス的におかしいと思います。

と言いますか、かんじさんも力説しているように、要するにハコモノ先に有りきなんですよ。

旭川におられた永遠の旅人さんならこのあたりの行政体質をご存知ですよ。

公共事業は全体的に減ったとはいえ、この体質は変わっていません。

耐震とか防災を大義名分にすれば反対しづらいのをいい事に、カネもないのに新しいハコを造りたいだけなんです。

実は、防災センターが計画された時に、忠別川河川敷に光ファイバーを敷設した防災道路を張り巡らす計画もありました。

災害で一般道路が通行不能になった時のために、という名目でした。

広々とした旭川の街路全てが通行不能になるとは、いったいどれだけの壊滅的大災害を想定してるんでしょうね。

と思ったら、冬季間の除雪は考えていないという事で、さすがにこれは批判を浴びました。

この計画はその後どうなったのか、さっぱり聞こえてきません。

また、旭川市は各地区ごとに立派な住民センター(昔の公民館)を整備しています。

最近では過剰施設の批判を気にしてか、支所などとの複合施設とするケースが増えてますが、

これとてなぜか非常時のバックアップ拠点としての活用を考えようとしません。

すべてがこの調子ですから、本当に危機管理を考えた上での施策なのか非常に疑問なのです。

現市役所総合庁舎のみならず、文化会館もセットで建て替えるんじゃないか？という事は以前から囁かれていました。
文化会館は耐震性の問題は聞いた事がなく、単に古くなったというだけの理由です。
今回の発表で「やっぱりね」という感じです。

元祖シビックコア 投稿者: [永遠の旅人](#) 投稿日: 2016年 6月 9日(木)22時38分57秒

[返信・引用](#)

momongaさん 六条以北に公共機関が集まっている理由を説明していただきありがとうございました。
昔は上川支庁や中税務署（これは五条ですが）など確かに現在よりも官公庁が集まっており、北彩都のシビックコアよりも集中していますね。
確か、上川支庁の永山移転は当時の横路知事が永山副都心構想の一環にという触れ込みでしたが、実際のところこれに先駆けて移転した上川農業試験場の有休地処分に利用されたというオチではないでしょうか？

財政への配慮は確かに必要ですが… 投稿者: [永遠の旅人](#) 投稿日: 2016年 6月 9日(木)22時11分20秒

[返信・引用](#)

旭川市民34万人。人口推計が現在想定される最悪のペースで進んでも2040年にはまだ23万人程の人口を抱える「大都市」です。
確かに東光に総合防災センターなるものができたようです。
消防本部ではなく司令（通報を受理し、消防車などを派遣したり、作戦展開をする部署）が入っているようですが、市が行う災害対応は何も消防だけではありません。
東日本大震災や熊本地震でも明らかのように、初動は自衛隊、警察、消防が活躍しますが、道路や上下水道などインフラの復旧、避難所の設営、運営、救援物資の分配、被災家屋の診断や被災証明書の発行（これによって自宅再建や生活再建のための支援金の受給額が決定）、災害弱者である高齢者、障害者、子どもの保護など市役所の仕事は多岐に渡ります。
とてもあの程度の防災センターでは機能不全に陥ります。
また、これは旭川で暮らしていた時は私もそう思っていたので無理もないと思うのですが、「災害の少ない旭川」というイメージは一度捨て去った方がいいと思うのです。
言葉は悪いのですが、旭川市民の根拠のない自信（決して皆さんだけを指しているわけではありませんよ。かくいう私も数年前まではそうでしたから）には今は正直なところ違和感を禁じ得ないのです。
たまたま100年ちょっとの間水害を除く災害がほとんどなかっただけで、先住民のアイヌの人々は文字を持たなかった民族のため、口承による伝説は数多いのですが、本州以南とは異なり文献がないのではっきりわからないだけで実は過去に大地震があったかもしれませぬ。
まして冬期間はマイナス20℃以下にもなる極寒の地であることは疑いようのない事実。
熊本は車中泊や野宿でも何とか耐えましたが、旭川ではそういうわけにはいきません。
予算については無限ではないでしょうが、災害対策や都市再生など有利な補助金を最大限利用して、必要なものは造らなければならないと思います。

Re: 梅雨がないのは羨ましい 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 6月 9日(木)16時56分17秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No. 1271\[元記事へ\]](#)

永遠の旅人さんへ

こんにちはかんじです。

> 出来レース、スクラップ&ビルドが好きの人達、いずれも同感です。
> 確かに市庁舎の建替については賛否両論あるでしょう。
賛否両論といいます、一般市民に賛の声は無いと思います。
賛を唱えるのは、市役所職員と建設関係者だけではないでしょうか。
一番問題なのが、事業を執行する役人という部署の人間が予算を多く執行する事にステータスがあるという事です。
市議もそうです。それぞれの部署の幹部もそうです。
自分の権限でいかに多くの予算を獲得し、事業を執行するかが役人の使命となっています。
確かに膨張を続けた高度経済成長の時代には、この論理で町が豊かになって行った事は否定しません。
しかし、いま人口が減り予算も縮小してゆく中であってこの論理は通用しないのに
相変わらずお役人の間では多くの予算を消化する事が正義であって、減らしたり小さくすることは悪

なのです。
一般市民の感覚とははるかにずれています。

市役所の建て替えと、文化会館の建て替えにいったいいくら予算がかかるのでしょうか？
300億円近い金になると思いますよ。
市役所建設には補助金がほとんど使えないので、ほとんどが市民へのツケとなります。

旭川ってそんなに裕福な町でしたっけ？
借金は1800億円ほどあるようですね。

市民の理解を得ているという証拠を作るために、昨年市民へのアンケートを行いました、
これが実に誘導的質問ばかりで、まさに偽造証拠作りです。

http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/740/742/p009038_d/fil/shimin_anketo_kekka.pdf

最初の前提がこうです。

「平成9年に実施した耐震診断では、総合庁舎の耐震性に問題があることが判明し、大きな地震があった場合、建物が倒壊する危険性があり、人命の安全が確保できないおそれがありますが、こうした状況を知っていましたか。」

そのうえで

「問 庁舎建設の基本的考え方（「庁舎整備検討委員会最終報告」から抜粋）をご覧くださいの上で現総合庁舎を建て替えた方がよいと思いますか。」

とくるのです。

なら、平成9年に実施した耐震診断は、通常の診断とは別の方法を用いており、
診断を行った佐藤建築事務所では、別の方法でも診断した方が良いと提言している
事を市民は知っていますか？と聞きたい。

これは無視しているのです。

さらには現市庁舎が、様々な賞に輝く近代建築の代表的な建物であることもほとんどアナウンスしません。

<https://www.aj.or.jp/scripts/request/document/20151126.pdf>

<http://www.jia-asahikawa.com/#!/blog/ck0g>

建て替えを前提に極めて意図的に市民を誘導しているのです。

Re: 梅雨がいないのは羨ましい 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 6月 8日(水)11時17分50秒

[返信・引用](#)

永遠の旅人さんへ

仮に今の庁舎を何らかの形で継続利用するにしても、耐震性についてはしっかりとした対策は必要でしょうね。
有事の際に機能する施設としては、郊外に旭川総合防災センターという立派な施設が数年前につくられたんですよ。
それだけでなくとも災害の少ない旭川ですが、近辺町村を含めた消防本部も兼ね備えた他都市も羨む施設です。
市役所崩壊などという事はあってはならない事ですが、どうも施設ばかりが過剰だと思えてなりません。

- > むしろ、都心部にあれだけの空間を用意した先人の先見性に感心します。
- > 将来的に市庁舎の建替が必要になった時を見越してのことなんではなかろうか？
- > それとも中央小学校の敷地を転用した偶然の産物なんではなかろうか？

中央小学校を移転したのは、あの場所に今の文化会館を建てたかったからですね。
ドーナツ化現象で生徒の数が減り、たまたま大成小との統合計画があったのであの場所になった訳で、そういう意味では偶然です。

これとは別に、旭川は6条通り以北に色々な公共機関が集まっています。（最近では移転等でバラけてきてますが）
これには実は歴史的な経緯があって、
明治期の旭川への流入人口が急速に膨らんでいた頃、何故か道庁は民間への土地払下げを6条までに制限した時期があったんですね。
今で言うなら、市街化区域を6条通りまでとし、6条以北は市街化調整区域（共有地）とした訳です。
それだけでなくとも払下げ可能な市街地が足りなくて四苦八苦ししていたのに、意味の分からぬお達しに困った旭川では、
市街地のあちこちに散在していた各役所を順次6条通りから北の共有地に移転し、空いた跡地を民間に払下げたのです。

市役所はじめ、旧上川支庁や警察署・気象台、それに上川中学などの公的機関があつた近辺に集まったのはそういった経緯によるもので、つまり、実は苦肉の策だったのです。

梅雨がこないのは羨ましい 投稿者:永遠の旅人☒ 投稿日:2016年 6月 7日(火)21時12分20秒

[返信・引用](#)

昨日の朝6時41分頃のNHKの天気予報で旭川の映像が流れていました。清々しい青空で梅雨空のこちらからすれば羨ましい限りでしたが、音楽大行進の日にあの天候だったら良かったのですが…。

出来レース、スクラップ&ビルドが好きな人達、いずれも同感です。道路拡幅が大好きなもの北海道の特徴です。地価の安さも原因でしょうけど、結果として街並みが単調になりがちです。我が町では狭い道を車と歩行者がせめぎあっており、ある意味羨ましくもあります。

確かに市庁舎の建替については賛否両論あるでしょう。ただ、個人的には有事の際に市民の生命を守る司令塔が耐震性能に不安がある現状はやはり好ましくはないと思います。その耐震性能照査も皆様が仰っているように性急の感は否めませんが…

むしろ、都心部にあれだけの空間を用意した先人の先見性に感心します。将来的に市庁舎の建替が必要になった時を見越してのことなんではないでしょうか？それとも中央小学校の敷地を転用した偶然の産物なんではないでしょうか？

Re: 永遠の旅人さん 投稿者:momonga☒ 投稿日:2016年 6月 7日(火)11時56分47秒

[返信・引用](#)

ごぶさたです。

4日の雨は荒れたと言うような降り方ではありませんでしたよ。細かい雨でけっして強い降り方ではなく、まあ涙雨の範疇ですね。ただ気温がかなり低くて、日中でもようやく10度を上回る程度しかありませんでした。あの気温で雨に濡れるのはさすがにまずいでしょうね。翌日はスカッと晴れて気温も回復しただけに悔しいところです。

新しい旭川市庁舎の場所選定は間違いなく出来レースです。もう最初から決めていて、検討するふりだけして実は変えるつもりがなかったというのが見え見えです。文化会館建て替えとセットにして現庁舎取り壊しも既定路線でしょうね。

文化会館は何年か前にアスベスト対策で大掛かりな工事を施したばかりで、それこそまだ40年しか経ってない建物です。ほんとにスクラップ&ビルドが好きな人達だと思います。どんどん新しいモノと置き換えて行くんですから、歴史が積み上がらないのはあたりまえですね。

(無題) 投稿者:永遠の旅人☒ 投稿日:2016年 6月 6日(月)22時13分58秒

[返信・引用](#)

momongaさん
ごぶさたしております。
北海道音楽大行進の中止は非常に残念でしたね。
確かに招魂祭の涙雨は有名ですが、そんなに荒れたのでしょうか？

ところで旭川市庁舎と市民文化会館の改築が記事に出ていましたね。
<http://e-kensin.net/news/article/9099.html>

Re: また一つ伝統が・・・ 投稿者:momonga☒ 投稿日:2016年 6月 4日(土)19時16分17秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

そうか、お手伝いがあるからかんじさんも関係者になるんですネ。(^^)

> 80年ぶりに雨のため中止と聞いていましたが、80年前に中止になったのは雨のせいではなかったということでしょうか？

80年ぶりにもなにも、どうやら昭和24年から27年の4回開催中断以外は事前中止決定そのものが初めての事みたいですね。

そう言われてみれば私の知る限りでパレードが中止になったという記憶がありませんし、でも過去には一度や二度あるだろう、くらいに思っていたのですが、なかったらしいです。

昨年まで83回の開催で、悪天候による中止が一度もなかったなんて驚異的です。

でも私も昔、かわいそうにズブ濡れになって行進している姿を見た経験がありますから、実際には小雨決行、多少の雨くらいでは中止しなかったという事なんでしょうね。

結果的に今日の中止は正解だったと思いますが、やはり前日中の中止判断は、この音楽行進には安易にあてはめるべきではないと考えます。

Re: また一つ伝統が・・・ 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 6月 4日(土)14時47分41秒

[返信・引用](#)

> [No.1266\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 音楽行進が中止になってしまいました。残念です。本当に残念ですね。

80年ぶりに雨のため中止と聞いていましたが、80年前に中止になったのは雨のせいではなかったということでしょうか？

> この方法で実際問題、悪天候で中止したケースがほとんどないというのも驚異的です。(昔は多少無理もしたでしょうが)

私がかかなり小さかった頃ですが、雨の中をカッパを着て鼓笛隊が歩いていた記憶があります。

たぶん兄の写真だったと思うのですが、カッパを着ていましたね。

> 関係者のご苦勞は多大かと思いますが、お陰様で私は家でゆっくりしています(^_^);でも残念です。

また一つ伝統が・・・ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 6月 4日(土)13時07分41秒

[返信・引用](#)

音楽行進が中止になってしまいました。残念です。

私も永年この行進を見に行ってますが、前日中に中止を決めたというのは聞いた事がありません。

それもそのはずです。天候を理由に中止を決めたのは、長い歴史をもつこのパレードで初めての事だそうです。

そもそもこの音楽行進は、例年護国神社祭に降る泪雨の心配がつきまとうのが常です。でも、多少ぱらつく事はあっても不思議とパレードの間は雨が上がっている事が多いのも常です。

事実、私は傘を持って行ってもパレードを見ながら差した経験がありません。

(開会式へ向かう時や、アフターコンサートの途中からならありますが)

主催側もそんな特異性を知ってか、これまで天候を理由に前日に中止を決定するという事はありませんでした。

まして最近は全く当てにならない天気予報です。

昨日の時点では今日は雨の予報でしたが、その昨日だって終日晴れの予報であったのに実際は終日曇天一時雨、日の沈む頃になってようやく空が明るくなってきたという外しっぷりです。

バクダン低気圧が来るとか、前線が通過するとか、よっぽど明白な気象状況でない限り信用できないのが最近の天気予報です。

はっきり言って、そんな天気予報を根拠に早々と中止を決定されると諦め切れない、というのが本音です。

参加団体に負担をかけない配慮なのでしょうが、参加団体にしても年1回のこの音楽行

進を楽しみにしているわけです。

「もしかしたらできるかもしれないからギリギリまで待てば？」という気持ちが強いのではないのでしょうか。

そうは言いますが、今日の天気は確かに実施するには少々無理がありますね。
雨はこの後おそらく上がるでしょうが、気温が低過ぎです。
こんな日に限って天気予報は当たりました。 ← 皮肉と未練たらたらです^^;

ただ私が心配してるのは、80年以上も続けてきた伝統的な実施基準まで変えてしまうのか？という点です。
冒頭に言いましたように、この音楽行進開催日（護国神社祭）の天候には明らかな特異性があります。
だからこそこれまで当日になるまで中止の判断はしてこなかったのです。
この方法で実際問題、悪天候で中止したケースがほとんどないというのも驚異的です。
（昔は多少無理もしたでしょうが）

関係者のご苦勞は多大かと思いますが、
下手に天気予報なんか信じるよりは、永年の経験則に従ったほうがよっぽど「あ～できたのに～」がないと思いますよ。

天気が心配 投稿者:momonga☑ 投稿日:2016年 6月 3日(金)13時54分17秒

[返信・引用](#)

明日は音楽大行進です。
天気がちょっと心配ですね。雨ばかりでなく気温が低い・・・
涙雨はいつもの事ですが、晴れの予報が外れている今日とは逆に外れる事を願っています。

今年の第2師団駐屯地祭は、6年ぶり2度目のブルーインパルスがやってきますね！
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/2d/event/28souannai/28souannai.html>
やあー、またあの迫力ある曲技飛行が見られるのは嬉しい限りです。

18日に予行飛行、19日本番飛行と、実質2日間旭川上空にやって来ます。
楽しみです！
去年はF15がやって来るはずだったんですが、ザンネンながら天気に恵まれず中止。
音楽行進は曇っていても問題ありませんが、
このブルーインパルスだけは何とかスカッと青空になってほしいと切に願います。

Re: 国土地理院の地図 投稿者:momonga☑ 投稿日:2016年 5月28日(土)10時17分0秒

[返信・引用](#)

おおーかんじさん、さっそく見つけて来ましたね。
図書館にありましたか。
以前、図書館で戦前の地図を一通りコピーしていただいた時にはこんなはありませんでしたけどね。
内容はモリゴロウさんの地図と変わらないようですから、同じ地図の縮尺違いっぽいですね。

当時は地図の販売自体も制限されてたでしょうし、出回るとしてもこのように改描されたものだったという事ですね。
まさか旭川の地図でこのように改描されたものが現実に見られるとは思いませんでしたよ。

Re: 国土地理院の地図 投稿者:かんじ 投稿日:2016年 5月27日(金)10時23分30秒

[返信・引用](#)

> [No.1258\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

私も手に入れました。

戦時中の地図です。
 図書館にありました。
 見事な「戦時改描」です。
 発行年、印刷年は入っていませんでした。
 発行者でしょうが「参謀本部」と入っています。
 しかも 右上に「秘」としっかり入っています。

これがモリゴロウさんのおかしな地図の原型というか戦時中の物だと思います。

この一枚以外の地図にはすべて大町支線が入っていました。



Re: 戦時改描 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 5月26日(木)11時22分56秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

> 郷土史全般に関しては学芸員さんは絶対に豊富な知識を持っていますが、
 > 細かな部分やマニアックな調査項目に関しては素人だって決して負けていませんからね。

その通りですね。
 所蔵されてる資料や物品、それにまつわる情報はさすが博物館だなあ、と思う場面がいくつもありますし、
 やはり古くからの常設機関だけに、それらの蓄積は我々の比ではありません。

ただ思うのですが、博物館の場合、当たり前ですがどうしても”モノ”が必要なんですよね。

何か物理的な資料や物品があってはじめてそれにまつわる調査が成される。
 あるいはその逆のケースもあるでしょうが、いずれにしても断片的なモノの調査の積み重ねが主なんですよ。

調査済みの案件については詳しいが、未調査あるいは不明のものについては我々と変わりありません。

それどころか今回の地図のように我々が先行して調べてるケースだってあります。
 この掲示板で採り上げられてる話題の数々も、けっこう学芸員さんの知らない事も多いんじゃないでしょうか。

岡本さんもおっしゃってましたが、旭川の歴史には意外と謎が多いとされてますから、まだまだその余地あります。

> こんど岡本さんとじっくり話せる時間を作りましょうかねえ。

ぜひそうしたいですね。
 実は岡本さんとお会いしたのはもう4回目なんですけど、何故か顔を覚えてもらえてない・・・^^;

(目がかなり悪いみたいです)
 でも吉田初三郎の時のことを話したら、かんじさんの事は覚えてられましたよ。

Re: 戦時改描 投稿者: かんじ 投稿日: 2016年 5月25日(水)17時02分28秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

> 40名近い方々が熱心に聞き入っていましたね。
なかなかの盛況ぶりで私も行きたかったな。

> 突っ込みたいところがたくさんあったのに・・・^^;
郷土史全般に関しては学芸員さんは絶対的に豊富な知識を持っていますが、
細かな部分やマニアックな調査項目に関しては素人だって決して負けていませんから
ね。
こんど岡本さんとじっくり話せる時間を作りましょうかねえ。
そういえばmomongaさんとは吉田初三郎の屏風絵を岡本さんに見せてもらった仲でした。
それ以前にも旭川の地名由来で岡本さんと面識があったとか言ってましたね。

> 中外拓殖という会社についても全く分かっていないという事なので、例の論文がネットで見られる事を紹介したところ、
> 「情報ありがとうございます！」とえらく感謝されました。

それは郷土史研究者として面目躍如でしたね。
私もなんか元気が出ます。

Re: 戦時改描 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 5月24日(火)12時11分13秒

[返信・引用](#)

思わぬところで思わぬ話題になって元々の話題が飛んじやいました。
そうそう、かんじさんの北門町の河川跡から飛んじやったんですね。(^^)
既に自己解決したようですので、今度私も現場を見てきます。

でもって、22日には再度博物館へ赴き、岡本学芸員さんによる展示物の解説をきいてまいりました。
40名近い方々が熱心に聞き入っていましたね。
同じ歴史経緯でも多少観点が違うところもあり、まあまあ楽しめましたが、質問するタイミングが全く用意されてなかったのが残念です。
突っ込みたいところがたくさんあったのに・・・^^;
でも1時間程度の時間で一通りの解説ですから、岡本さん自身にとってもけっして満足な解説はできなかったでしょうね。
そこにいちいち質問を受けてたらとてもじゃないがいくら時間があっても足りない。

解説終了散会してから、何とか一点だけ例の『中外拓殖株式会社所有地連絡図』について立ち話できました。
あの地図の件を持ち出したとたん「お目が高い！」という言葉が返ってきました。
実は今回初めての展示だそうで、旭川市博物館の所蔵品だそうです。
「岐阜の図書館でも所蔵してるみたいですよ」と言ったところ、「それは知りませんでした」
中外拓殖という会社についても全く分かっていないという事なので、例の論文がネットで見られる事を紹介したところ、
「情報ありがとうございます！」とえらく感謝されました。

他にも色々話したかったのですが、どうにも忙しいのでそれだけで後は遠慮しましたが、
またゆっくりと話したいものです。

戦時改描 投稿者: かんじ 投稿日: 2016年 5月24日(火)09時50分17秒

[返信・引用](#)

今回の件でいろいろ調べてみて改めて解った事ですが、こういった戦争に絡む地図の改竄を「戦時改描」というんですね。
日本では昭和15年頃から軍需施設を地図から消したり、別の物に換えたりという行為が行われたようです。
地図だけでなく都合の悪いものは写真の修整や様々なものが規制、改変させられたようです。
地図は正確である事が最も重要と思っていましたが、それを捻じ曲げる戦争の恐ろしさを改めて感じます。
昭和17年からは地図の販売も禁止になっていたとか、
それでも国土地理院の前身である部署は、終戦後直ちに資料を保管し新しい組織で戦後復興の為に正確な地図作りをはじめ今日に至っています。
モリゴロウさんが提示してくれた、おかしな地図はそんな時代もあったという反面教師にしたいものです。

Re: 国土地理院の地図 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 5月19日(木)11時53分8秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

私も師団線（大町支線）がちゃんと記載されていれば、戦前の地図から師団施設の文字記載を消しただけと考えたと思います。
ところが、明治32年の敷設から、昭和53年の廃線まで一度たりとも地図から消えた事などない軌道が描かれてないというのは、どう考えても意図的としか思えないわけです。

> 終戦後進駐軍が乗り込んできたときに、とにかく軍需関係のものは全て隠したという話を聞いたこともありますので、米軍に気を使ったのかななんて事も考えます。

逆に、進駐軍の意図で戦前の地図を引っ張り出して再発行した可能性がありませんかね？

進駐軍もこの頃に日本全国の航空写真を撮りまくってますよね。我々もよく使わせてもらってますが。^^;
つまり進駐軍も日本国内の地図が必要だったはずで、そのために印刷したのがたまたま件の地図だったかもしれません。

戦前のキナ臭い時代は、正確な地図というのは軍事機密でしたから、進駐軍に「出せ」と言われて出したらこんな地図だった・・・という推測でした。

Re: 国土地理院の地図 投稿者: かんじ 投稿日: 2016年 5月19日(木)09時44分52秒

[返信・引用](#)

> [No.1256\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> かんじさんは、戦後になってから師団関連の記述が全て削除された、という解釈ではありませんか？

はい、そう思っていました。

> 実は私の解釈は違っていて、あれは戦前の地図であって、軍事施設を意図的に”隠した”地図だと見ています。

ほ——、なるほど。
軍事施設を除いた地図ですね。
確かに当時軍事施設を秘密にしたというのは聞いていましたし、海図なんかでも海軍基地の載っていないものを見たことがあります。
可能性は高いですね。
ただ、昭和22年と言えば2年も過ぎた戦後ですので、その時にわざわざこんな不正確な地図を出すかな？って疑問は残りますけどね。

終戦後進駐軍が乗り込んできたときに、とにかく軍需関係のものは全て隠したという話を聞いたこともありますので、米軍に気を使ったのかななんて事も考えます。

昭和27年に測図が行われているようですが、その測量を基に別の戦後の正確な地図が作られたように思います。
この頃なんか混乱しているみたいですよ。

そういえば、momongaさんも持っている「地図で見る旭川の変遷」に入っている地図も、大正7年の後が昭和31年で、ずいぶん飛んでいるなと思っていたのですが、戦争を挟んだ混乱期にあって、正確な地図が作られなかったんですね。
または軍関係では作っていたかもしれないけど一般には公開されなかった可能性もありますし。

唯一あるのが1945年の米軍作成の旭川地図ってのが一番詳しく、この間を穴埋めしているかもしれません。

Re: 国土地理院の地図 投稿者: momonga 投稿日: 2016年 5月18日(水)12時24分10秒

[返信・引用](#)

かんじさんへ

たぶん私と一つだけ解釈の違いがあると思います。
モリゴロウさんの、師団線と師団関連の記述がすっぽり抜けている地図についてです

が、
かんじさんは、戦後になってから師団関連の記述が全て削除された、という解釈ではありませんか？

確かに昭和22年印刷となっていますから、年号通り見るならそういう解釈が成り立つと思いますが、
実は私の解釈は違って、あれは戦前の地図であって、軍事施設を意図的に”隠した”地図だと見えています。

先の戦後地図とは逆で、あの地図の内容は明らかに昭和初期のままのものです。
おそらく昭和6年補入の時のままの地図のような気がします。

根拠は、

- ・牛朱別川の切替前である（これは大正5年測図であれば当然か）
- ・現旭橋架橋前の電車の軌道が描かれている
- ・護国神社ではなく招魂社と記載されている（改名は昭和16年）
- ・旭町、大町などの字名が記載されていない（昭和4年に制定）

等々ですが、要するに師団線と師団施設の記載が一切無いのを除けばそれなりに辻褃の合った地図なのです。

先のレスでも触れましたが、戦前は陸軍外局の陸地測量部が地図づくりを担っていました。

でもって、戦前は国土防衛上このような軍事関連施設を一切省いた地図がつけられていたと聞きます。

この地図はその部類ではないでしょうか？

Re: 国土地理院の地図 投稿者:かんじ 投稿日:2016年 5月18日(水)11時16分14秒

[返信・引用](#)

今回の国土地理院のトンデモ地図の一件で少なくとも戦前の地図に関しては、かなりいい加減なものも多く信頼性には疑問があるって事そうですね。

momongaさんもでしょうが、日本で一番正確な地図を出しているだろうと信じていた私にはショックな事件でした。

しかし大正5年から昭和20年の終戦にかけては、日本は異常な社会情勢であったことも確かであり、戦後の軍部否定もまた異常な状態であったわけです。

そんな政治や体制が真実を捻じ曲げトンデモ地図を作り出したのでしょう。

幸いにも現在はそのような状況には無いと信じていますので、国土地理院様にはとにかく正確な地図を作り後世に残してもらいたいものです。

私は歴史書を読むのが嫌いなのですが、古い地図を見るのは大好きです。
まるでタイムマシンに乗っているかのようなワクワクした感覚で見えています。

PS.

モリゴロウさんの出してきた地図でとんでもない事がわかりましたが、最初の質問に戻ると、北門町の斜め住宅ですが、確かに川があったようです。

そばにお住いの方に聞きました。

そこに下水があったんだよね。それに沿って住宅が建ったんだ、もう埋めちゃったけどと言っていました。

でも下水ではなく登録上はちゃんとした川だったと思われまます。

河川は河川法や水利権など別な重要な要素を含みますので、かつてに埋めたり切り替えたりできません。

そのため、用地が河川の影響でいびつな形になることは良くあります。

そこに歴史が投影されることもあり、そんな場所が大好きです。

Re: 国土地理院の地図 投稿者:momonga☑ 投稿日:2016年 5月17日(火)14時56分41秒

[返信・引用](#)

今回のモリゴロウさんの地図画像により、国土地理院といえどもトンデモ地図が存在する事がわかりました。

我々が資料とするには全く地図としての体裁を成してないですね。

貴重な”珍品”ありがとうございました。m()m

私は国土地理院の地図は基本的に測図時点の情報への加筆はできるだけ抑えるべきだと考えています。

その分測図はマメにしなければなりません、そうでなければいつの時点の姿を描いた地図なのか判別できなくなるからです。

かと言って、発行時点でできるだけ新しい情報を盛り込みたいという気持ちも分かります。

「鉄補」なんて用語があるくらいですから、昔はどんどん更新しなければならない代表的要素だったんでしょうね。道路なども同じ事が言えると思いますが、加筆した内容をもっときちっと明確化してくればまだ良いのですが。

しかしながらそれも限度があり、今回の国土地理院の地図のように、測図から発行までの期間が常識では有り得ない長い期間で、実際問題その間に道路・橋はもちろん、川の流れも”時代”すらも変わってしまったのに「鉄補」「修正」の一言で済まされている・・・とてもじゃないが「補入れ」のレベルじゃないですよ。と言いますか、地形も市街も大きく変化した時代に測図が大正5年のままなのはあまりにも怠慢過ぎです。

モリゴロウさん、大事に保管されたらよろしいのではないのでしょうか。後の3枚の地図の1・2枚目も、昭和に入ってから補入・印刷にしては、旭川区のままだったり、馬鉄が記載されていたりメチャクチャです。3枚目は先に書いたように意図的に軍事施設の記載を省いた地図でなきゃ説明が付きません。よくよく考えてみれば国土地理院は戦前まで陸軍外局の陸地測量部ですからこういった地図の存在は充分考えられます。

国の機関の発行地図ですから、エラー貨幣やエラー切手同様「珍品」としての価値があるかもしれませんよ。(笑)
我々にしてみれば既に十二分に珍品ですが・・・
購入したのですから国土地理院にどういう事なのか問合せみるのもいいかもしれませんよ。

Re: 国土地理院の地図 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月14日(土)10時15分15秒

[返信・引用](#)

> [No. 1252\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

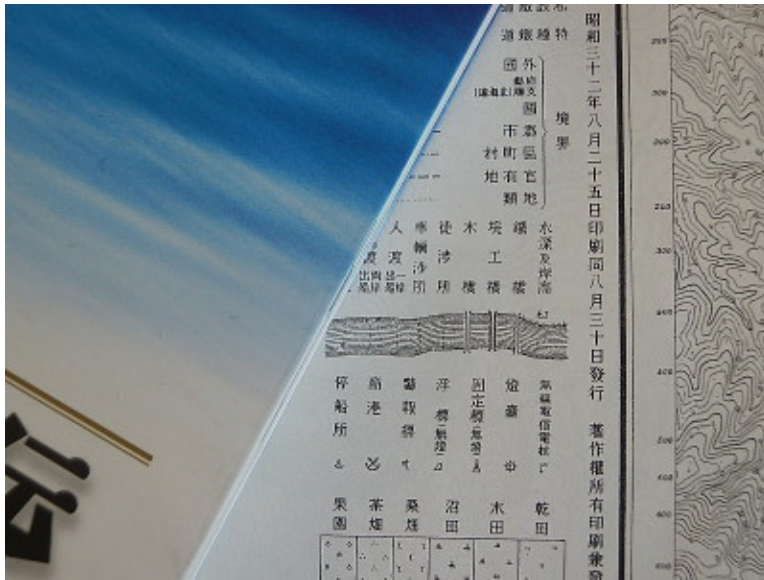
かんじサンの分析力には脱帽です！

すごく「レア」な地図を持ってるんだ！と・・・喜んで良いのでしょうか？

一歩間違えば「紙くず」にしか思えないのですが・・・

当時は原本のネガ保存かマイクロフィルムでの保存だと思います。引き伸ばし、またプリントはマイラー（乳白色のトレース用紙）を使っています。それに加筆、または重ね焼きで加工するかのいずれかで地形図を作っていたと思います

文字が年代ごちゃまぜになっているのは地形図、鉄道路線図、道路図、住宅図だけのベースが何枚か（最低二枚）存在し重ねて焼いた（印刷）のではないのでしょうか？
標高やポイントとなる数字、町村名が異なるの二枚の地形図が存在（戦前、戦後）しその上に重ね焼きしたのでしょうか
だからカラー地図も存在すると私は推測します



国土地理院の地図 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)16時30分24秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

モリゴロウさんが購入した国土地理院のサイトを見てみると、少しわかってきました。国土地理院の発行する当該地の2万5000分の1の地図は一覧に示すように大正5年の測図に始まり16種類あります。

最新版は平成18年測図、18年発行です。

ところが地図の基になる測量、測図は大正5年の後、昭和6年に鉄補（鉄道補正？）があった他は戦後の昭和27年まで行われていません。

その後昭和47年、昭和53年、昭和61年、平成3年、、、、平成18年と戦後は比較的頻繁に修正が行われたようです。

問題は昭和27年まで基本修正されていないにも関わらず、昭和22年、昭和23年に鉄補という形で発行されています。

これはmomongaさんが指摘されたように、陸軍関連施設の消去修正ではないでしょうか？

そこでモリゴロウさんが示した最初の地図ですが、昭和32年8月印刷との事ですが昭和32年発行というのは現在無いですよ。

momongaさん指摘のように戦後の物だとすれば、昭和27年測量以降のものです。

となると昭和31年発行の物であると思います。

私とmomongaさんのもっている物ですね。

でもモリゴロウさんの文字が逆方向だから、32年発行の時の別バージョンという事になります。

気付いたのは昭和31年発行のものはカラーなんです。

それ以降もカラーです。

モリゴロウさんの白黒ですよ。

この時期大正5年の基図を修正した白黒バージョンと、昭和27年測図の新しいカラーバージョンがあって、白黒バージョンは絶版にしたのではないのでしょうか。

モリゴロウさん。

再度、同じ地図を買えますか？

もう買えないのではないのでしょうか。

PS.

修正加筆です。

>正式には大正5年測図 昭和6年鉄道補入、同27年修正 昭和32年8月印刷の国土地理院発行の原本です。

つまり大正5年に測図して、昭和27年の測量に合わせて修正し、32年8月に発行した、「文字が逆の白黒バージョン」というのがあったんですね。

昨年まで。

2.5万地形図
旭川
あまひなの

リスト掲載▲	図版性	更新履歴	発行年月日	カラー種類	所在地	白黒の有無	用紙サイズ	図柄本 交付	図柄本交付 申請書作成	備考
28-10-3-1	1916(大5)	再刊	1918/11/30(大7)	モノクロ	日本測地系	有	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-2	1931(昭6)	改訂	1932/07/30(昭7)	モノクロ	日本測地系	有	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-3	1931(昭6)	改訂	1947/05/30(昭22)	モノクロ	日本測地系	有	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-4	1952(昭27)	改訂	1956/11/30(昭31)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-5	1972(昭47)	改訂	1974/01/30(昭49)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-6	1978(昭53)	修正	1980/06/30(昭55)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-7	1931(昭6)	改訂	1948/05/30(昭23)	モノクロ	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-8	1986(昭61)	修正	1987/05/30(昭62)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-8B	1986(昭61)	修正	1987/05/30(昭62)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-9	1991(平3)	修正	1992/02/01(平4)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-10	1996(平8)	修正	1997/06/01(平9)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-11	1998(平10)	郵送	1999/07/01(平11)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-12	1999(平11)	郵送	2000/05/01(平12)	カラー	日本測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-13	2001(平13)	郵送	2002/09/01(平14)	カラー	世界測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-14	2006(平18)	更新	2006/09/01(平18)	カラー	世界測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	
28-10-3-14B	2006(平18)	更新	2006/09/01(平18)	カラー	世界測地系	無	柱判	可	<input type="checkbox"/>	

※現在刊行中の図（発行年月日が最新のもの）は図柄本交付の対象外です。
※旧版地図（現在刊行されていないもの）については、図式変更等により現在の図面と異なる場合が御座りますのでご注意ください。

図柄本交付申請書作成
※チェックを入れた図の図柄本交付申請書を作成できます。

Re: 信頼性が総崩れ 投稿者:モリゴロウ 投稿日:2016年 5月13日(金)13時55分23秒

[返信・引用](#)

> [No.1249\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

ご指摘をいただかなければこの地図の知識のままではいたかもしれません（汗）

地図をよく見ると大町岐線が根元から無いじゃないですか！

本当にどうなってるんでしょうか。。

「ブーベの恋人」住宅以来、変な地図の持ち主になってしまいましたね(笑)

ご希望があればいつでもコレクション地図をお見せしますのでご一報下さい

Re: 明治？の土手道 投稿者:モリゴロウ 投稿日:2016年 5月13日(金)13時47分26秒

[返信・引用](#)

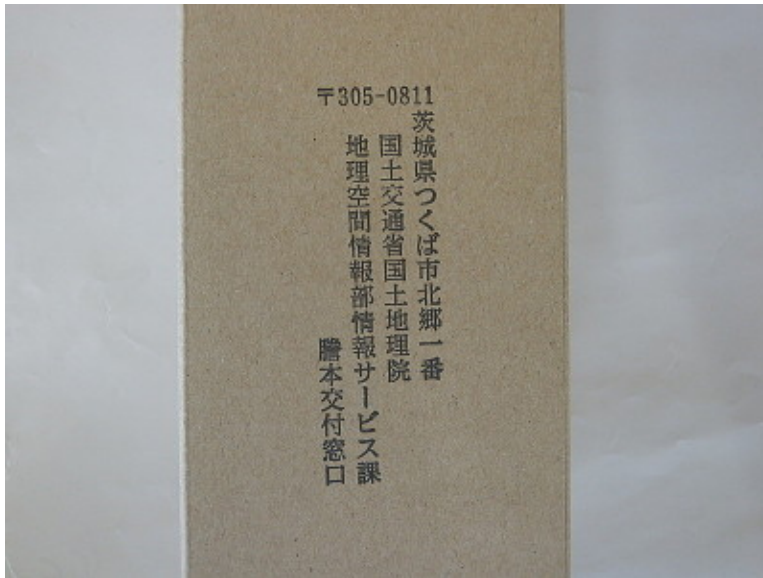
> [No.1248\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

入手したのは去年の事でした。国土地理院のHPより旧版地図の入手方法から額面分の郵便小為替で代金を送りました

鉄道の補入された物をチョイスしただけなのでなんの脈絡もありませんが(笑)





信頼性が総崩れ 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)12時11分46秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

一晩寝てややすっきりした頭で昨日の地図に対する推測を試みました。
でもその推測も今朝また覆されました。(笑)

昨日のモリゴロウさんの地図だけであれば、戦後文字表記が左右逆になった事に地理院の版対応が間に合わなかったのが要因かな？と思いました。
つまり実際には戦後の地図なんだけれども、横書きの文字表記だけは数年間戦前の左右逆の版を使わざるを得なかった・・・
私やかんじさんが持ってる昭和31年製の地図は新しい表記になってるが、モリゴロウさんのはもう少し古いので旧表記のまま・・・
これで辻褄が合う！ (^_^)v

・・・と思いきや、今朝のモリゴロウさんの3枚目。何ですかこのメチャクチャな地図は。
かんじさんおっしゃるように完全なエラーとしか思えないですね。
師団線の鉄路がすっぽり抜けているばかりでなく、師団に関する文字記述も一切ありません。
地図はどう見ても大正以前にも関わらず、新橋が描かれ、練兵場を囲んでいるのは馬鉄でなく電車の軌道ですね。しかも旭橋は古いまま。
則図から地図印刷までの期間があまりに長過ぎるとこういう事はあり得ると思います
が、ちょっとひどい。
もしかしたら意図的に軍事施設を省いた特殊な地図かな？

これまで国土地理院の地図はやはり一番信頼を置いて見てきたんですが、
ちょっと考え直さなきゃならないかもしれません。

Re: 明治？の土手道 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)10時22分35秒

[返信・引用](#)

> [No.1246\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

すみません。
モリゴロウさんの投稿を見ないで私の記事を上げてしまいました。
それにしてもおかしな地図を沢山お持ちですね。
一つずつ上げていたら切がないかもしれませんが、3枚目の地図には明らかに違和感があります。

だって、近文の引き込み線が無い！のに師団があるじゃないですか。
どうなっているんだろう、、、。

[返信・引用](#)

Re: 明治？の土手道 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)10時08分54秒

> [No.1245\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

> 手っ取り早く言えば、ベースになってる地図は間違いなく戦後の地図なんです。

そうなんですよ。
この地図は私の持っている国土地理院昭和31年発行のものとはほぼ同じです。
測図は昭和25年、27年、31年のものです。
なのにそこの文字の記述が戦前の古いものというわけですよ。

良く見ると基図も少しずつ違うので、まったく同じものではありません。
文字が違うというのは、文字は別刷りなんだと思います。

モリゴロウさんへ

>。正式には大正5年測図 昭和6年鉄道補入、同27年修正 昭和32年8月印刷の国土地理院発行の原本です
昭和32年発行の測図が大正5年ってのはありえないですよ。
でもこのおかしな地図が存在しているのは確かなので、やはり何らかのエラー商品ではないでしょうか？
いつ購入されたのですか？



Re: 明治？の土手道 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)10時03分25秒

[返信・引用](#)

> [No.1245\[元記事へ\]](#)

momongaさん

かんじサンへ

ワタシが掲載した一枚の地図でこれだけ物議していただき嬉しいやら、申し訳ないやら(汗)

他にも持っている地図を見て何か発見出来ればと思います

一枚目は

大正5年測図 昭和6年鉄道補入、昭和8年7月印刷の国土地理院発行

二枚目は

大正5年測図 昭和3年鉄道補入 昭和5年2月印刷の国土地理院発行

三枚目は

大正5年測図 昭和6年鉄道補入 昭和22年2月印刷の国土地理院発行

鉄道マニア的に大町岐線の引き込みが戦後GHQによって敷地内の線路が撤去されてしまったものと思っていました

そして昭和32年の地図は警察予備隊として自衛隊が発足したのちの物資輸送の線路が引かれたものと思っていました



Re: 明治？の土手道 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 5月13日(金)00時31分5秒

[返信・引用](#)

> [No. 1242\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさん、たて続けにすみません。

手っ取り早く言えば、ベースになってる地図は間違いなく戦後の地図なんです。
ただ、地名を記す文字が右から左への記述方式を含め、「近文」などの記載があるなど
戦前のものなんですよ。
何かの比較に使うための地図なのか・・・？

Re: 明治？の土手道 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)23時54分48秒

[返信・引用](#)

> [No. 1242\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

国土地理院からの入手ですか・・・

う〜〜ん、、、単純な年号違いとかでなく、年代が完全に混じってるんですよ。
意図不明ですねえ、何か他に情報ありませんか？

Re: 明治？の土手道 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)23時25分18秒

[返信・引用](#) [編集済](#)

> [No. 1242\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

> 国土地理院より直接購入しました

>

> 書き足ししているので色々な施設、路線が残って(書き足されて)いますが正真正銘の
国土地理院の印がついた地図です

まじですか！！

まるでエラー紙幣みたいな地図(図面)ですね。

発行が確かなだけに、価値がありそうな、、、(^_^;

Re: 明治？の土手道 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)22時56分45秒

[返信・引用](#)

momongaさんへ

すいません。年号が間違いです。正式には大正5年測図 昭和6年鉄道補入、同27年修正
昭和32年8月印刷の国土地理院発行の原本です

国土地理院より直接購入しました

書き足ししているので色々な施設、路線が残って(書き足されて)いますが正真正銘の国
土地理院の印がついた地図です

Re: 明治？の土手道 投稿者: [momonga](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)21時21分54秒

[返信・引用](#)

モリゴロウさんへ

おおよよ！？ モリゴロウさん、この地図はどうやって入手されましたか？
私、この地図見てここまでレスしようと思ってた事が全部ぶっ飛びました！

この地図はどう見ても戦後のものです。
なぜなら、旧練兵場を取り巻くように伸びてる鉄道は終戦後の進駐軍のために延長され
たものです。

また、当時まだ何も無いはずの住吉町に、戦後斜めに配置された住宅も描かれてます
し、

戦前の二十八連隊にあらうはずもない警察学校が書き入れられています。

かと言って、地図に書き入れられてる町名等は全て戦前の右から左への逆書きです。

どう考えてもおかしいのですが、合成されたものではないですか？

Re: 鎮護 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)18時44分28秒

[返信・引用](#)

> [No. 1237\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

タイムリーにご返答いただきありがとうございました！

すごくわかりやすいHPでした！

読んでいて自分が初めて旭橋を見た時の事を思い出しました

ピンク？（肌色チック）で川の周りにはうっそうと柳が生えていた事も！

懐かしい思い出です

Re: 明治？の土手道 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)18時37分42秒

[返信・引用](#)

> [No. 1238\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

ダンサー認定ありがとうございます(笑)

この地図は国土地理院の25000分の昭和3年の発行ですが地図の北門町（逆書き）部分に斜めに入る「川」があるのわかりますでしょうか？

この場所に川があった淵に沿って住宅と道路が出来たと思われ

20年くらい前にこの場所に訪問した事がありその時はまだ川があったように記憶していますが
今は暗渠になったのか、存在しない川になったのかは不明です
近々調査してきます

話は変わりますがこの地図にある自衛隊の敷地に引き込まれた線路の長さが気になりこの地図を手に入れました



Re: 明治？の土手道 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)16時53分38秒

[返信・引用](#)

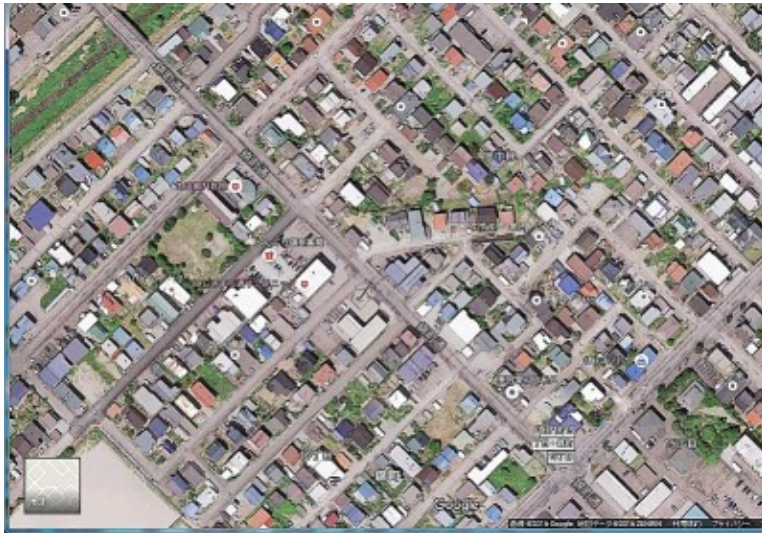
> [No. 1235\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

> 自分もタモリさんと同じく段差好き（ダンサーと呼ばれます）笑
> 斜めの道路と共に気になります

ははは、momongaさんもモリゴロウさんも私も、全く同じ人種ですね。

最近、北門町16丁目のこの斜めが気になったのですが、良くわかりません。



Re: 鎮護 投稿者: [かんじ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)16時46分44秒

[返信・引用](#)

> [No.1236\[元記事へ\]](#)

モリゴロウさんへ

> ぜひこの「鎮護」プレートについて教えて下さい！よろしくお願いします
当時の事が上手く整理されているサイトがありましたので、参照してください。

<http://peace-asahikawa.cocolog-nifty.com/blog/2009/12/post-a502.html>

「鎮護」という言葉はあまり聞いたことが無かったのですが、改めて調べてみると「災いや戦乱をはずめ、国の平安をまもること」ですから、やはり戦争という背景があつての言葉のように思います。

仏教用語の鎮護国家というのがありますが、上川神社が貼ったのだから仏教はおかしいかなと、、、。

別の角度からプレートを見てみますと。
このプレートは一度外して、橋を塗り替えてから最後に取り付けなおしたんですね。
銅板の下にゴムのような薄い膜を挟んでいる事、(+)プラスネジを使っている事、ワッシャーをかましていることなどから、当時の取り付け方とは違っているように思いました。

鎮護 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)12時49分13秒

[返信・引用](#)

数年前に地元情報新聞に掲載された旭橋の改修工事で発見された「鎮護」の話を二日前
20代の若者から教えてもらいました

まったく知らなかったので話を聞いて恥ずかしいっつら。。(汗)

興味深々でその若者に写真を撮ってきてもらい掲載の許可を頂きました

詳しい話は本人も覚えていないらしく「謎」が深まるプレートです

ぜひこの「鎮護」プレートについて教えて下さい！よろしくお願いします



Re: 明治？の土手道 投稿者: [モリゴロウ](#) 投稿日: 2016年 5月12日(木)12時34分51秒

[返信・引用](#)

> [No.1229\[元記事へ\]](#)

momongaさんへ

自分は昨年の夏に友人からこの道の事を聞き二度ほど訪問しました
坂の下にある公園をみながら川の流れを想像したり(笑)

写真は④と⑤に挟まる道路を40号線方面を見て撮ったものです

左側の木が結構太く堤防から宅地に変った時代に植樹されたものかと感じています

自分もタモリさんと同じく段差好き(ダンサーと呼ばれます)笑

8条通りの21丁目~22丁目の坂(段差)

血液センターに向かう道路の近文オホーツナイ川の暗渠の段差など

斜めの道路と共に気になります



Re: 明治？の土手道 投稿者: momonga ☒ 投稿日: 2016年 5月12日(木)12時09分46秒

[返信・引用](#)

> [No. 1232\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

私は段差だの土手だのと言っていました、正式には「河岸段丘」と呼ぶんですか・・タモリなら最初から正確に言い当てるでしょうね。(笑)
人為的に造った土手とか堤防ではないのは私にもすぐ判りました。

今回たまたまこの付近に用事があって、⑤の場所（たぶん医療センターの敷地で昔は野球グラウンドがあった）が小山のように盛り上がっている事に気付いた事が始まりです。この時はまだ雪の残ってる時期だったので、雪が無くなったら改めて見にこようと思っただけですが、
実はこの時点でもまだすぐ目と鼻の先にある件の土手道に気付いてなかったんです。地図で見たら湾曲した道があるはずだ・・・あれ？てな訳です。

川のマチですから、探せばもしかしたらまだあるかもしれません。

Re: 明治・大正の旭川 投稿者: momonga ☒ 投稿日: 2016年 5月12日(木)11時26分20秒

[返信・引用](#)

> [No. 1231\[元記事へ\]](#)

かんじさんへ

私もこの地図の写真撮ったんですが、帰ってから拡大して読もうと思ったらピントが甘くてボケて読めずにいました。助かります。(^^)
改めて読むと、まさに宅地販売のパンフレット宣伝文句のようですね。
ただし書いてある事は非常に先見性のあるまともな見方だと思います。
この地図は岐阜図書館も所蔵しているようですが、複数存在するのかな？

私も同じ論文を見て中外拓殖株式会社について知りました。
自分の持つ資料にこの名はないと思い、迷わずググることから始めましたが、ほとんどまともにヒットしないですね。
唯一探し当てたのがこの論文でしたが、さすが学術論文らしく設立人物像が詳しく記述されていますね。
ついでながら全文をザーと流し読みして見ましたが、
設立者は北海道への入殖経験があり、その後色々な事業を手がけて山師的要素もあったらしい事と、
中外拓殖の設立当初は社名も別で銀行業を営んだ事、商売替えして社名を変えて増資の時に拓銀も絡んだようですね。
今で言う不動産デベロッパーに相当するのかも知れませんが、実際の宅地造成までやったのかな？
北海道においては何となく投機的な匂いがします。

あとちょっと気を引いたのが、
この地図は陸軍大演習での新橋架橋が決まっている事から考えて、大正13、4年頃のものに間違いのないと思われますが、
この時点で牛朱別川の埋め立て宅地化も記載されている事です。
牛朱別川切り替え工事が始まる5、6年も前に既に予定されていたという事になりますね。

《前のページ》 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 《次のページ》

以上は、新着順351番目から400番目までの記事です。

/ 32 ページ移動

新着順 投稿順 表示切替

【論・旭川】 HPへ戻る

管理者へメール

[RSS](#)

管理者メニュー

自分の投稿の編集

[teacup.レンタル掲示板](#)